

薩摩川内

広報

さつませんだい



4

April.2024
vol.468

消防活動の最前線へ



友だち
募集中



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら



令和6年度の主な施策概要

本年度の主な施策の概要は、以下のとおりです。当初予算の詳細については、広報薩摩川内5月通常版でお知らせします。

1 子ども・子育て

- ◎安心して子どもを産み育てられる支援の強化
- 薩摩川内市子ども家庭センターの設置
- 産後ケアの更なる充実
- 共働き・子育ての応援
- 子ども医療費の助成や学校給食費の補助に電源立地地域対策交付金を活用



2 コミュニティ

- ◎自治組織運営支援の拡充
- ゴールド集落支援制度を継承しつつ、自治会や地区コミュニティ協議会に対する交付金・補助金制度の大幅な見直し
- 自治会や地区コミュニティ協議会が所有する防犯灯の電気料金相当額を市が負担
- テレビ難視聴自主共聴組合が所有する共同受信施設の維持管理経費の支援



3 産業人材確保・移住定住戦略

- ◎就業および移住定住の更なる促進
- 奨学金返還支援制度の拡充
- 高校生などの市内就職を奨励する取り組みの実施
- 医療・介護・保育、農林水産、建設、地域公共交通など、多様な分野における人材確保・育成



▲市移住定住支援サイト

4 SDGs・カーボンニュートラル

- ◎「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現に向けた気運の更なる醸成
- SDGsに資する行動にポイントを付与
- トイレタリー商品プラスチック包装容器の分別回収事業の継続
- 甌島区域における生ごみの処理対策の調査に着手



5 DX(デジタル・トランスフォーメーション)

- ◎デジタル技術を活用した地域課題の解決
- デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」を活用し、地域内経済の循環を促進
- 地域医療介護情報ネットワーク「かごネット」の利用推進



▲デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」

6 市誕生20周年記念

- ◎郷土愛と一体感の醸成
- 記念式典やイベントなどの記念事業の実施(特産品などの販売促進や販路拡大、次世代を担う若者の交流、憩いと安らぎを与える森づくりなどの取り組み)



▲市誕生20周年記念特設サイト

令和6年第1回薩摩川内市議会定例会 施政方針の概要

令和6年2月20日開会の第1回市議会定例会において、田中良二市長が述べた市政に関する考え方や方針の概要を一部紹介します。なお、全文は市ホームページでも紹介しています。



▲市ホームページ

二 国の動向

第213回通常国会の施政方針演説において、岸田文雄内閣総理大臣は、賃上げや設備投資、株価など、日本経済が新たなステージに移行する明るい兆しが随所に出ていることを踏まえ、「これまでの積み上げを形にし」、国民が「成果を実感していただく年」とするため、総力を挙げて取り組むことを訴えました。

三 施策の概要

本市においては、令和3年6月の薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言の趣旨を踏まえ、誰一人取り残さない持続可能で魅力的なまちづくりをさらに力強く推進して

いく必要があります。特に、令和6年10月には、市誕生20周年を迎えることから、この節目を市民の皆さまと共に祝い、郷土愛と一体感の醸成を図りながら、アフターコロナの未来に向けてさらなる飛躍を目指してまいります。また、令和6年度は、本市誕生以降取り組んできた、新市の一体感の醸成、地域自らが主体となった地域づくり、市内外への積極的な情報発信、快適で利便性の高い社会基盤の整備・充実、さらには、持続可能なまちづくりなどの施策展開を振り返り、人口減少の進行による社会経済情勢の変化などの時代の潮流を踏まえ、市政の新たな羅針盤となる第3次総合計画を策定する大変重要な年となります。

これらに取り組みつつ、行政運営においては、少子・高齢化の進行に伴う社会保障関係費や、公共施設などの維持管理経費など経常的経費の増加が続いている状況にあることから、なお一層の健全で持続可能な財政構造を確立する必要があります。

このような状況を踏まえ、本市の令和6年度の施策展開においては、次ページに掲げる6項目にポイントを置き、予算の選択と集中を図りながら、新たな行政課題の解決に積極的に取

り組んでまいります。

三 予算の大綱

令和6年度当初予算案においては、予算編成方針に基づき、第2次総合計画および総合戦略に基づく施策、アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期の展望および未来創生10ビジョンの実現に係る事業の着実な進展を図るとともに、薩摩川内市SDGs・カーボンニュートラル宣言や薩摩川内市SDGs未来都市計画の趣旨を踏まえ、持続可能で魅力的なまちづくりに向けた予算を編成したところであります。

これらの結果、一般会計当初予算の規模は、前年度当初予算に比べ、5・5パーセント増の575億6千万円となりました。また、温泉給湯事業など9つの特別会計は、合計で258億4493万4千円となった他、水道事業など3つの公営企業会計は、合計で56億9099万円となりました。

三 結び

最後に、本年度も各種施策を展開・推進するに当たり、市民の皆さまのより一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域産業の高度化や雇用の創出を目指して

令和4年4月20日に、市と京セラ株式会社鹿児島川内工場は、半導体部品関連事業の増強を図ることを目的に、第23工場の増設に関する立地協定を締結しました。

現在、令和7年3月の一部操業開始を目指して、工事などが進められています。また、工場拡張を見据えた用地拡張のため、高城産業用地の整備も進められています。



▲整備が進む京セラ株式会社鹿児島川内工場第23工場(左)と高城産業用地(右)

アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望

おおむね令和10年4月を目途に、実現を目指す田中良二市長の戦略方針です。

5つの未来創生

- 1 新ビジョンの策定**
 - ・第3次総合計画策定
 - ・48地区コミュニティの地区振興計画改訂
- 2 循環経済・産業拠点の創出～川内港臨海ゾーン整備**
 - ・川内港久見崎みらいゾーンの分譲・企業立地
 - ・南九州西回り自動車道阿久根川内道路薩摩川内水引IC～(仮称)湯田西方ICの供用 など
- 3 雇用の創出**
 - ・既存誘致企業の拡張推進
 - ・新規就農者育成拠点施設、閉校跡地の利活用推進
- 4 交流の創出**
 - ・全国大会の開催支援、誘致
 - ・川内文化ホール跡地活用施設の整備促進
- 5 甌島医療体制の整備**
 - ・甌島の診療所などの再編、整備



▲整備が進む川内文化ホール跡地



火災や救急の時、いち早く駆け付け、市民の命を守る消防士。そんな彼らが普段どのような仕事をしているか知っていますか。
今回は新庁舎(中郷町)に移転して10周年を迎える薩摩川内市消防局消防本部と中央消防署に潜入し、消防士たちの仕事に迫ります。
※消防士には救急隊員も含まれています。



キジカケル!!



消防本部とは？

薩摩川内市消防局の庁舎3階には、消防本部があります。消防本部には、消防総務課、警防課、予防課、通信指令課があり、主に本市の消防局全体の企画および総合調整や、火災予防に関する企画、消防・救急部隊の運用計画、通信指令業務などの事務全般を行っています。

119番通報の要 通信指令室

火事や救急で出場要請をする時、皆さんが電話を掛ける119。薩摩川内市全ての119番通報がここ消防本部の通信指令室に届きます。入電があると、まず火災か救急かを聞き、GPSで大まかな発信地を特定。その後現場の状況を聞きながら瞬時に情報を整理して、各部隊に出場指令を出します。

出場要請から3分以内に出場できるよう日々準備しているんだって。



▲通信指令室の様子

中央消防署

庁舎2階には中央消防署があり、約55人の消防士が在籍しています。勤務は24時間交代で、当番の消防士は2階の事務室で出場に備えて待機しています。勤務中は、いつでも出場できるような体制を整えています。そのため署内には、食堂、調理場、トレーニング室、仮眠室、洗濯・乾燥室などの設備が充実しています。以前は、当番制で全員の食事を作っていましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、今は各自で準備しているそうです。



▲中央消防署事務室の様子



▲消防車両を点検する様子

消防士の制服と活動時の服装をご紹介します！

制服
式典や礼式を伴うときや、通常点検を受けるとき、会議などで着用します。



青色の活動服は消防隊が着用します。

オレンジ色の救助服は救助隊が着用します。



普段の消防署内での服装です。訓練や事務をしながら出場指令に備えています。

国家資格を持つ救急救命士はグレーの救急服を着用しています。



救急隊
救急車両で病気やケガをした人に適切な処置を行い、医療機関に搬送します。



消防隊
火災現場での消火活動や救急隊の活動支援、自然災害などあらゆる災害に出場します。



救助隊
火災や交通事故などの災害現場で、知識や専門技術・器材を駆使し、救助活動を行います。

災害が起きていない時の消防士のある一日を紹介！

8時30分 勤務交代(前日の勤務者から引き継ぎ)



10時 立入検査などの実施・報告書作成



12時 昼食(各自で準備)

13時 火災・救急対応訓練



本番で緊張しないように、安全第一、しっかり手順を踏んで行うことを意識しています。

15時30分 出場後の報告書などの作成



17時 各自筋力トレーニングなど



18時30分 夕食(署内にある調理場を使って簡単な料理を作ることもある)

21時 消防車両点検・事務処理



22時~5時 仮眠(この時間に2時間交代で通信指令業務を行う)

5時~8時30分 起床・車両清掃・事務処理
勤務交代(翌日の勤務者に引き継ぎ)

訓練中の消防士を突撃!

毎年5月末に開催される※鹿児島県消防救助技術指導会に向けて、現在訓練中です。その一部を紹介します。

※安全確かな救助技術の確立を目的に、県下20消防本部から選抜された消防士が一同に会して日頃の訓練の成果を披露します。

ロープブリッジ救出

3人1組の救助チームで行います。2人が水平に張られた渡過ロープ(20メートル)により、対面する建物に進入します。要救助者を救出ロープに吊り下げ、けん引して救出します。その後2人が脱出するという流れで行う訓練です。



①ロープを結び、救出準備をします。

②渡過ロープを渡り、対面する建物に進入します。このことを、渡過といえます。(写真右上)

③救出ロープを結着し、要救助者を救出する準備をします。(写真左上)

④隊員が要救助者をけん引して救助します。

⑤隊員2人が脱出します。

昔事故に遭ったときに助けくれたのが、現在の上司です。そんな上司を目指し、日々訓練に励んでいます。



ロープ応用登はん

塔前2メートルからスタートし、地上15メートルの到達地点まで器具を使わずに補助者と協力して、ロープを登る訓練です。登はん者1人、補助者1人の計2人で行います。



登はん者 15メートル地点(到達点)まで自身の筋力・技術のみでロープを登ります。

補助者

登はん者が登り始めた後、脚力を生かして登れるように、登はん者の足にロープを巻きまわす。ロープを巻いた方の足が上がるように、ロープを緩め、足を引いて踏ん張るときにはロープを引っ張るなど、登はん者をサポートします。

訓練終了後の消防士インタビュー

小原瑞穂さん



消防士を目指したきっかけは、テレビドラマです。また、母が看護師として直接人を助ける仕事をしていて影響で、救急救命士の資格も取りました。今年で3年目になり、任される業務も増えましたが、まだまだ付いていくのに必死です。「小原がいてくれて良かった」そう思ってもらえるよう、日々訓練に励みます。

坂下英登さん



「家族が住むこのまちを自分が守りたい」という思いで、消防士になりました。日々、トレーニングや訓練に励み、ロープブリッジ救出では、ベストタイムを記録しています。そして大好きな家族や市民にとってのヒーローでありたいです。

今年が本市誕生20周年。入局20年目と20歳になる職員にインタビューしました

橋口智之さん(入局20年目)

もともと消防士という職業に憧れていました。本格的に目指し始めたきっかけは、高校生の時にアメリカで起きた同時多発テロ。その時にたくさん消防士が活躍していたと知り、消防士を目指すようになりました。入局当時は、教わったことを覚えること、現場でミスをしたくないようにすることに必死でした。20年経った現在、指導する立場にもなり、現場でいかに早く安全に活動できるか全体を見ることを意識しています。また、後輩とのコミュニケーションを積極的に取ることも心掛け、状況に応じて声掛けや指導をしています。子どもたちから通りすがりに手を振ってもらえることもあり、うれしく思います。



地域に根差した活動

地域を守る消防団

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という意志に基づき、住民有志で組織された市町村の消防機関です。普段はそれぞれの仕事をしながら、災害時には現場に駆け付け、火活動などを行っています。



どんな活動をしているの?

火災現場での消火はもちろん、地震などの自然災害時の消防活動、消防演習などの各種防災訓練へ参加しています。

具体的な活動を紹介!

3月4日(月)、入来小学校で行われた消防演習に参加し、実際に火災が発生した想定で訓練を行いました。逃げ遅れ者の救出や一斉放水を行い、演習終了後は、児童による消火器の取り扱い訓練もあり、火災発生時にいち早く対応できるように、地域一体となって防災意識を高めました。



▲消火訓練を行う様子

実践してみると、意外と簡単に消火器を取り扱うことができました。この訓練を生かして、みんなの命を守りたい。



▲消火器の取り扱い訓練を行う児童

北田大毅さん(入局2年目・20歳)

幼少期に家の近くで火事があり、その時に人の命を助けるために危険な現場に立ち向かう消防士を見てから将来は消防士になることが夢でした。そのため、勉強や部活を頑張り、知り合いの消防士から情報収集も行いました。小さい頃からの夢だったので、合格した時はみんなが喜んでくれました。

消防士は消火を行うだけだと思われがちですが、実際は法律を扱う事務作業も多く、火災予防のための活動も行っています。近年は火災件数は減少し、救急件数は増加しています。私も救急で出場することが多く、その中で、より多くの方の命を守るためには、救急救命士の資格が必要だと感じたので、資格取得に向けて頑張りたいです。

4月から消防学校に通い、消防士としての基本を学んでいます。一人でも多くの方に寄り添い、周りの人たちから信頼され、目標にされる消防士になりたいです。



入団条件は?

市内に居住、勤務または通学し、18歳以上の心身ともに健康な方であれば、どなたでも入団することができます。

現在、消防団員数は年々減少傾向にあります。生まれたまち、住み慣れたまちの防災活動を行ってみませんか。

詳しくは、消防局警防課消防団係にお問い合わせください。
☎(22)01125



▲消防団に関する詳細はこちら



▲市消防局Instagramでも広報活動を行っています

「市民の安全を守るために」

これを第一に考えながら活動する消防士たち。

チームとして活動する消防士は、日頃から、チーム・地域の連携や「次を考える行動」を意識することで、災害現場においてのチームワークや効率化を図っているそうです。

各地域の消防署や消防車両、訓練などの見学や防災研修センターの利用は、どなたでもできます。「地域に根付いた消防」を感じてみませんか。

問合せ先

消防局代表電話 ☎(22)01119



このコーナーでは、防災に関する備えや避難時の注意など、日頃から災害に備えるための情報をスポットで発信していきます。

被災地での活動を体験して

問合せ／消防局消防総務課企画総務係
TEL 20119

本市消防局から横浜市消防局に出向していた前畑芳樹消防士長は、1月21日から26日まで、令和6年能登半島地震の緊急消防援助隊として石川県に派遣され被災地活動に従事しました。
被災地での活動状況や現場で感じたこと、市民の皆さんへ伝えたいことなどについてインタビューしました。



▲地滑りにより倒壊した家屋および活動現場へ向かう様子
◀大きな地震が起きたときは通電火災にご注意！（政府広報オンライン）



**活動を通して感じた
日頃からの「備え」の大切さ**

今回活動した地域は、風光明媚な市域で雰囲気や人口などの規模感も本市と重なる部分がありました。災害が大きくなればなるほど、住宅の倒壊や火災が同時発生し、道路も崩れ、車両や資機材などの消防力が劣勢となることも想像され、日頃からの備えが大事だと改めて感じました。

例えば、

①災害備蓄品の準備や自宅の安全点検などを行う。

②1年に1回、家族で非常食を食べたり、水道水が使用できないことを想定したりして生活してみる。

このように、実際に経験して家族ぐるみで災害に対する意識を高めてみてはいかがでしょうか。

市民の皆さんへ

被災地では、一瞬にして大切な日常が失われた自然災害の恐ろしさを目の当たりにしました。大規模地震発生時は、火災が同時に発生する可能性があり、中でも通電火災が発生する割合が高くなっています。

避難の際は、自身の安全確保を最優先し、使用中の電気機器のコンセントを抜いたり、ブレーカーを落としたりなどして避難することも対策の一つです。

いつ起こるか分からないからこそ、想定できる「最大限の備え」をすることで被害を軽減できますので、これを機会に再確認をお願いします。



**市長と振り返る
薩摩川内市誕生20周年**

vol. 2

今月は、いよいよスタートする20周年記念事業の見どころなどについてインタビューしていきます。

市誕生20周年記念事業の見どころを教えてください。

市長 全部見どころです！
何よりも楽しくしなくてはいいなと思っていきます。アフターコロナで交流が復活してきている今、全市民、全世代、県内外、国内外の人が本市の20周年記念事業を楽しんでほしいということが1番の意気込みです。ミュージックフェスなどの若者が楽しめるイベントもあるのですが、多くの人と一緒にお祝いしたいです。



▲薩摩川内市誕生20周年イベント市ホームページ

20周年記念事業に若者が楽しめるイベントもあるとのことですが、日常的に若者が集まるまちにするために、どのようなことをしていきたいですか。

市長 若者の意見を聞きたいです。高校生の意見を聞くことができる。みらいアドバイザーが本場にいい機会になっていると思います。実際

何よりも楽しく！



▲みらいアドバイザーが提言している様子

問合せ
本庁秘書広報課
企画総務・広聴広報G
(内線 4122)

に、「若者が集まって話をしたり、勉強をしたりする場所があったら良いのでは」という提言があつて、まさにその通りだなと。若者もいつでも見掛ける、そんなまちにしたいです。

今回は、これからの本市のことなどを考えるにあたって、若者ともっと話をしたいという市長の思いを知ることができました。次回は、そんな市長の描く未来に迫ります。

※本市では、持続可能で魅力的なまちづくりの推進にあたって、高校生の視点から意見・助言を求めするため、薩摩川内市みらいアドバイザーを設置しています。

**人のこころを
つなぐために**

越地 成美さん



「人のとなり」とは…

文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てていくことを目的としています。

1月4日、薩摩川内市誕生20周年記念ロゴマークが刻まれた懸垂幕を市民広場でお披露目しました。
そこで今回は、全国の応募の中から選ばれたロゴマークをデザインした、本市出身のデザイナーの思いに寄り添います。

デザイナーとして

もともと絵を描くことが好きだったという越地成美さん。専門学校を卒業し、デザイナーとして印刷会社で勤務した経験もあるそうです。

「デザインをするにあたって、出来上がりを自分で見るのも一つの楽しみで、納得いくものが完成するまでの時間は大変だけど、デザインすることが大好きなので、そんなに苦ではない」と話します。

好きなことに関しては妥協したくないという越地さんは、「お客様の期待に応えることを第一に、その期待をさらに超えるような、良い意味で裏切ることができるようなのを作りたい」と自身のデザインに向き合う姿勢について教えてくださいました。

20周年を一緒にお祝い

本市が誕生して今年で20周年を迎えるにあたり、募集した記念のロゴマーク。

川内大綱引の綱をあしらった数字の20に、「次世代へつなぐ」という思いを込めてデザインしたという越地さん。ロゴマークの中には、大好きな臥龍梅や特産品のキビナゴ、蘭傘田池のベッコウトンボなどを盛り込んだといわれています。

「ロゴマークの公募を知り、市

誕生20周年を一緒にお祝いしたいと思った。また、さまざまな場面で女性が活躍している姿を見て、自分も何か頑張ってみたい」と感じたそうです。それでもやりたい気持ちもありながら、応募するか迷っていた中で、やはり後悔したくないと思い、応募したロゴマーク。なんと、1週間で仕上げたそうです。

「子どもが産まれてから、これまで以上に過ごしやすいまちだとより感じるようになった。子育てを含め、さまざまなサポートが充実していると感じる。20周年を迎える生まれ育った薩摩川内市を少しでも盛り上げることができて良かった」と郷土愛をにじませながら話してくれました。

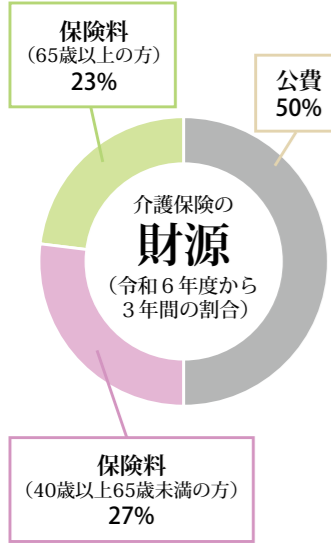
我が子の存在

そんな越地さんは、「子どもを早く寝かしつけて、夜な夜なデザインに没頭した。夫の客観的なアドバイスで、色味やレイアウトなど自分では気付くことができない発見ができた」と言います。

最初は全く違うデザインだったそうですが、「作業をのぞきに來る我が子を見て、ふと思っただのが、「次世代へつなぐ」という思いをロゴマークを通して伝えたいということだった」と言います。最初に比べ、色合いも



▲懸垂幕お披露目式にて（市民広場）



介護保険は、公費と皆さんが納める保険料で成り立っています。ご理解とご協力をお願いします。

今期の被保険者1人当たりの保険料基準額は、月額で6100円、年額で7万3200円となり、前期と比較して月額で100円、年額で1200円の減となります。減額の主な要因として、高齢者数や要介護認定者数の減少に伴う介護給付費の伸び率が緩やかになったことなどが考えられます。

介護保険料の基準月額額は6100円になります

その財源の一部が、介護保険事業計画に基づき、3年ごとに見直しを行っている介護保険料です。

令和6年度は、令和8年度までの3年間に必要となる介護給付費を見込んで、保険料の見直しを行う初年度にあたります。

介護保険と介護保険料

介護保険料が変わります

▼人口、高齢化率、介護認定者数および介護給付費の推移

	第8期			第9期(見込み)		
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
人口 (人)	93,189	92,391	91,696	90,881	90,048	89,208
高齢化率 (%)	32.5	32.8	33.0	33.3	33.5	33.8
介護認定者数(人)	6,032	6,015	5,960	6,035	5,999	5,946
介護給付費(千円)	9,847,907	9,775,818	9,835,552	10,156,384	10,130,637	10,134,966

出典：第9期介護保険事業計画 他
※令和5年の介護給付費は見込み



大会前の減量初期に食べています



うめだ こうき 梅田 皇輝さん

今回は、ブラジリアン柔術で強い体幹と攻め続けるスタミナを武器に、多くの大会で優勝を収めてきた梅田皇輝さんが減量中に食べる「無水カレー」を紹介します。

小学4年生から柔道をしてきた梅田さんが、寝技の細技が主体であるブラジリアン柔術を始めたのは、今から約10年前。初めて体験に行った日に、ベテラン選手に負けたことを悔しく思い、闘志に火が付いたそう。「柔道とブラジリアン柔術の練習を週にそれぞれ2回ずつ行い、他の日はトレーニングやランニングを行っています。好きでしているだけなので、全然苦ではないです」と、無自覚にストイックな生活を送っている様子を話してくれました。

大会に出場するにあたって、階級ごとに体重制限があるため、多い時は4～6キログラムの減量が必要になるそうです。梅田さんの普段の食事は、人よりも少し多め。減量しなければ大会に出場できないため、相当無理をして減量することもあるそう。減量中のス

トレスで、異常がないはずの歯が痛くて眠れないなど、体の異変を感じたことがきっかけで、体重にあまり影響せず、栄養が取れるものを食べなければと考えて作った辛口無水カレー。カロリー抑えめで体に良さそうなものを詰め込んだそうです。

ブラジリアン柔術の楽しさは、技を決めた時。試合で対戦した相手と仲良くなれるのも魅力の一つで、「ライバルとして戦った相手が友人となり、今では全国各地にいます」と笑顔で語ってくれました。選手の年齢層も中学生から60代くらいまで幅広く、大会への出場が目的ではなく、フィットネス感覚で練習している人も多いそう。「最近、有名人が大会に出場したというニュースが取り上げられて、ブラジリアン柔術の認知度が上がったのではないかと感じています。格闘技の中では比較的始めやすいと思うので、競技人口が増えたらうれしい」と話してくれました。

「4月に大阪で開催される全日本マスター柔術選手権での優勝が目標」と話す梅田さん。これからのさらなる活躍が楽しみです。

～ワンポイント～

- 追加で豆腐を入れるとタンパク質がさらに取れ、満腹感も得られる。入れるタイミングは、食べる前に温める時で、崩しながら煮込む。
- 栄養や水分が蒸気となって逃げないように、しっかりとふたをする。

レシピ

【材料】(4食分)

- 鶏むね肉：約250グラム ●タマネギ：3個 ●トマト：3個 ●しめじ：50グラム ●ニンジン：小1本 ●ナス：1本 ●ニンニク(チューブ)：適量(お好みで) ●カレールウ(カロリーーフ)：適量

【作り方】

- 1 鶏むね肉、ニンジン、ナスは一口大に切り、タマネギは薄切り、トマトはざく切りにする。
- 2 鍋にサラダ油を入れて、中火で熱する。鶏むね肉とタマネギの半量を入れて、全体に油がなじむまで炒める。
- 3 残りのタマネギ、ニンジン、しめじ、ナス、トマトを順に重ねて入れ、ふたをして弱火～中火で15分ほど煮込む。(水分が出てきたタイミングで、ニンニクを入れる。)
- 4 全体を混ぜ合わせて、一度火を止め、カレールウを入れて溶かす。再び弱火で5分ほど煮込む。 ※鶏むね肉は牛肉の赤身に、白米は玄米にしても良い。



皆さんの思い出の料理を大募集

皆さんの思い出の料理とそれにまつわるエピソードなどがありましたら、どうぞし情報をお寄せください。取材に伺います。
問合先／秘書広報課企画総務・広聴広報G(内線4122)

問合先／高齢・介護福祉課介護指導G(内線2621、2622、2623)

介護保険料(令和6年度)令和8年度

区分	段階	対象者	保険料率(率)	年間保険料(円)
世帯全員が 市民税非課税	1	・生活保護受給者 ・高齢福祉年金受給者 ・合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下	0.285	20,860
	2	・合計所得金額+課税年金収入額が80万円超120万円以下	0.485	35,500
	3	・合計所得金額+課税年金収入額が120万円超	0.685	50,140
本人は市民税 非課税だが、 世帯の誰かが 市民税課税	4	・合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下	0.9	65,880
	5	・合計所得金額+課税年金収入額が80万円超	1.0	73,200
	6	・合計所得金額120万円未満	1.2	87,840
	7	・合計所得金額120万円以上、210万円未満	1.3	95,160
	8	・合計所得金額210万円以上、320万円未満	1.5	109,800
	9	・合計所得金額320万円以上、420万円未満	1.7	124,440
	10	・合計所得金額420万円以上、520万円未満	1.9	139,080
	11	・合計所得金額520万円以上、620万円未満	2.1	153,720
	12	・合計所得金額620万円以上、720万円未満	2.3	168,360
	13	・合計所得金額720万円以上	2.4	175,680

介護保険料額のお知らせ時期

前年の収入・所得を基に、7月上旬にお知らせします。特別徴収(年金からの天引き)の場合、それまでの間(4、6月)は前年度2月と同じ金額を仮徴収します。

合計所得金額の計算方法が変わります

令和3年度分から令和5年度分までの介護保険料の算定については、第6段階以降の合計所得金額に給与所得または公的年金などに係る所得が含まれている場合は当該所得の合計額から10万円を控除する特例措置がありました。令和6年度以降は、当該特例措置はなくなり、

受診料無料！健康診断を実施します！

本市では、生活習慣病（糖尿病・高血圧症・脳卒中など）の発症や重症化予防および心身の機能低下の防止を目的に、「特定健診」と「長寿健診」を行っています。健康に暮らすために、年に1回の健診を受けましょう。

① 受診券が届く（4月上旬）

個人ごとに受診券を送付しています。

対象者

▼特定健診

薩摩川内市国民健康保険（以下「国保」）に加入している方で、40歳から74歳までの方

▼長寿健診

後期高齢者医療保険に加入している方で、①または②に該当する方

① 75歳以上の方

② 65歳以上75歳未満の方で、障害認定により後期高齢者医療保険に加入している方

● 受診をする必要がない（健診対象外の方）

・ 妊娠中の方

・ 6カ月以上連続で入院している方

・ 福祉施設などに入所中の方

● 左記の方は受診できません。

・ 国保の資格喪失後の方

・ 市外へ転出された方

・ すでに令和6年度に特定健診・長寿健診を受診した方

・ 年度内に人間ドックの補助を申請し、受診された方

※同年度における重複受診が分かった場合、受診に係る費用（最高1万1180円）または補助分を返還していただきます。

② 医療機関へ受診予約をする

受診券と同封の『特定健診受託医療機関のお知らせ』で受診できる医療機関や電話番号を確認の上、医療機関へ予約をしてください。

③ 特定健診・長寿健診を受ける（11月30日まで）

● 受診に必要なもの

・ 受診券

（特定健診はピンク色、長寿健診はうぐいす色）

・ 被保険者証（資格情報が確認できるもの）

● 受診時の注意

血液検査や尿検査がありますので、水以外の食事は取らずに受診してください。ただし、日常服用している薬（血圧など）は、服用可能です。特殊な薬を服用されている方は、あらかじめ主治医に確認してください。

● 検査項目

① 身体計測

（身長・体重・腹囲）

※腹囲測定は特定健診のみ

② 血圧測定

③ 血液検査

（血糖・脂質・肝機能など）

④ 尿検査（腎機能など）

⑤ 問診

⑥ 診察

⑦ 心電図検査 他

※レントゲンなどは含みません。



▲受診券（特定健診はピンク色、長寿健診はうぐいす色）

④ 健診結果

健診結果は、受診してから約3カ月後に市から通知します。

結果の内容によっては、保健師や栄養士により、お電話や生活習慣の改善について提案などをさせていただきます。

情報提供事業（特定健診のみ）

生活習慣病を含む疾病治療のため、定期的に血液検査などを行っている方は、治療などに測定された検査結果を医療機関から提供していただくことで、健診を受診したものとみなすことができます。

必要な項目が不足していた場合は、追加検査（自己負担なし）を受けていただきます。希望される方は、かかりつけ医にご相談ください。ただし、県外の医療機関など情報提供事業ができない医療機関もあります。ご不明な点は保険年金課にお問い合わせください。

また、パート勤務などで、事業所で健診を受けている方は、本人がその健診結果を市に提出することで、同じく特定健診を受診したものとみなすことができます。ぜひ、健診結果の提出にご協力ください。



▲特定健診を受診しましょう
市ホームページ



▲長寿健診を受診しましょう
市ホームページ

問合せ

▼健診に関すること
本庁保険年金課

特定健診Ⅱ国保G（内線2842）、長寿健診Ⅱ高齢者医療G（内線2831）または各支所、甕島振興局保健指導および健診結果に関すること

特定健診Ⅱ市民健康課健康増進第1G（川内保健センター内） ☎（22）8811

長寿健診Ⅱ本庁保険年金課高齢者医療G（内線2834）

人間ドックを補助します

問合せ／本庁保険年金課

▼国民健康保険対象者に関することⅡ国保G（内線2841〜2843）

▼後期高齢者医療保険対象者に関することⅡ高齢者医療G（内線2831〜2833）

薩摩川内市国民健康保険（以下「国保」）および後期高齢者医療保険加入者に対して、健康増進・健康維持のため、人間ドックの補助を行っています。

また、検査結果に応じて、希望される方に本市の保健師による保健指導も行っていきます。

● 補助対象者

国保または後期高齢者医療保険の加入者で、前年度までの国保税または、後期高齢者医療保険料を完納されている方

※脳ドックは40歳以上の方が対象です。

● 利用券申請時に必要なもの

① 顔写真付きの身分証明書

（代理申請の場合は、代理人の顔写真付きの身分証明書も必要です。）

② 利用する医療機関、ドックの種類などが確認できるもの（予約票など）

③ 特定健診・長寿健診の受診券（人間ドックとの重複受診を避けるため）

④ マイナンバーを確認できるもの

● 利用回数について

年度内にいずれかのドック1回のみ利用ができます。

※なお、がんドックのみ2年連続で補助を受けることができません。

● 補助利用手続きについて

ドック受診前

① 下表の医療機関に電話などで希望するドックを予約します。

ただし、「がんドック」利用については、補助枠の確認のため、医療機関への予約前に保険年金課にお問い合わせください。

② **ドック前日までに**本庁保険年金課または各支所、甕島振興局で、利用券の申請を行います。

ドック当日

③ 医療機関へ被保険者証と本市から交付された利用券を提出します。

④ 受診した医療機関の窓口にて市補助金を差し引いた自己負担金を支払います。

● 補助を受ける際の注意

年度内に各人間ドックと特定健診・長寿健診は、重複受診できません。

※重複受診が発覚した場合、人間ドックの補助金を返還していただきます。

種類・地域	医療機関	連絡先	検査料	補助金	自己負担金	
一日ドック	本市	おやまクリニック	(22)1101	41,000円	25,000円	16,000円
		上村病院	(23)3185	36,000円		11,000円
		済生会川内病院	(22)8921	41,140円		16,140円
		川内市医師会立市民病院	(22)1111	38,500円		13,500円
		大海クリニック	(27)6700	30,000円		5,000円
		大海宮崎クリニック	(20)1300	30,000円		5,000円
		伊達病院	(23)7171	38,000円		13,000円
		森園病院	(23)3125	32,000円		7,000円
		森田内科医院	(22)0559	30,000円		5,000円
	本市 甕島区域	上甕診療所	09969(2)0010	32,000円	7,000円	
		里診療所	09969(3)2023			
		下甕手打診療所	09969(7)0031			
	いちき串木野市	金子病院	(33)0011	35,552円	10,552円	
		花牟禮病院	(33)5115(健診直通)	35,400円	10,400円	
		春田クリニック	(33)2882	30,000円	5,000円	
		ふじいクリニック串木野	(32)2222	33,000円	8,000円	
		丸田病院	(32)2263	36,000円	11,000円	
	さつま町	稲津内科病院	(52)3355	一般コース	34,000円	9,000円
心工コー含む				46,550円	21,550円	
鹿児島市	薩摩郡医師会病院	(53)0326	38,500円	13,500円		
	鹿児島県民総合保健センター	099(220)2622	40,480円	15,480円		
	鹿児島厚生連病院健康管理センター	099(256)1133	47,400円	22,400円		
	南風病院	0120-332-411 (人間ドック専用)	胃部X検査 40,700円 胃部内視鏡検査 44,000円	15,700円 19,000円		
一泊二日ドック	本市	おやまクリニック	(22)1101	60,000円	20,000円	
		上村病院	(23)3185	64,000円	24,000円	
		済生会川内病院	(22)8921	68,860円 糖コース 80,520円 大腸コース 80,520円	28,860円 25,120円 40,520円	
	鹿児島市	鹿児島県民総合保健センター	099(220)2622	65,120円 通院 55,220円	25,120円 15,220円	
		鹿児島厚生連病院健康管理センター	099(256)1133	91,760円 一般コース 102,120円 女性コース 102,120円	51,760円 62,120円	
		鹿児島厚生連病院	(22)8921	52,030円	22,030円	
女性ドック	本市	済生会川内病院	(22)8921	44,480円	14,480円	
	いちき串木野市	花牟禮病院	(33)5115(健診直通)	52,180円	22,180円	
	鹿児島市	鹿児島県民総合保健センター	099(220)2622	55,890円	25,890円	
脳ドック(40歳以上)	本市	鹿児島厚生連病院健康管理センター	099(256)1133	29,000円	1,000円	
		新門リハビリテーションクリニック	(20)8222	29,000円	1,000円	
		川内市医師会立市民病院	(22)1111	38,500円	10,500円	
		川内脳神経外科	(23)3800	31,000円	3,000円	
		大海クリニック	(27)6700	35,000円	7,000円	
いちき串木野市	森園病院	(23)3125	35,000円	7,000円		
	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター	(32)9999	38,500円	10,500円		
がんドック(PET検査)	鹿児島市	厚地記念クリニック	099(226)8871	120,000円	70,000円	
		南風病院	0120-332-411 (人間ドック専用)	101,000円	51,000円	

※ 医療機関と金額は変更になる場合があります。 ※ 検査項目は医療機関によって異なります。

深ボリ! 企業のチカラ

第64回 株式会社ジーピーフーズ

今回は、株式会社ジーピーフーズを「深ボリ!」。執行役員統括の松木博文さんにお話を伺いました。

事業の概要

昭和62年の創業以来一貫して、鹿児島県の特産品である



▲松木執行役員統括（右から2人目）と従業員の皆さん

「サツマイモ」を主とした冷凍サツマイモデザートなどの製造販売を行っています。また、他社ブランドの商品の委託製造も行っています。自社ブランドのスイートポテトを県内、全国の学校給食のデザートとして、年間100万個以上提供してきました。



▲お芋屋さんのスイートポテト（学校給食のデザート）

素材の違いを見極める力

一人一人に個性があるように、サツマイモにも一つ一つ個性があり、地域や時期により大きさや味、硬さが異なります。その個性を見極め、加工作業を行い、こだわりのおいしさへ導けるとともに、私たちの強みがあると考えています。

また、当社が約束する価値・強みとして、「安全管理の最優先、素材の良さを活かす、迅速・丁寧の両立、柔軟な発想で提案」を掲げています。これからも安全安心な商

品を提供し、「サツマイモの新たな価値」を追求していきたいと思えます。

今後の抱負

加工技術を向上させ、新たな魅力と価値を持ったサツマイモの商品を開発し、国内のみならず、海外の販路を作っていきたいと考えています。また、国際基準の品質管理システムを導入しているため、安全安心で美味しい商品をお客さまへお届けしていきます。社内においては、デジタル化を進めており、全ての従業員がもっと働きやすい環境を整え、「この会社で働いて良かった」と感じてもらえるよう、職場改善にこれからも積極的に取り組んでいきたいと思えます。



▲サツマイモの加工作業の様子

株式会社ジーピーフーズ - Information -

代表者: 代表取締役 知識公洋

所在地: 青山町 4602

従業員数: 56人

連絡先: ☎(25) 3079

ホームページ▶

社員からのメッセージ



入社5年目
吉内愛望さん

私は事務として、受注から配送までの手配などを担当しています。お客さまから、「学校給食のデザートがおいしかった」と子どもたちに好評だったなど、うれしいお言葉をいただくこともあります。これからも自社の商品知識を高め、丁寧な電話対応や来客対応を心掛け、お客さまとより良い関係を築けるよう成長していきたいと思えます。

薩摩川内市で創業してみませんか？ 薩摩川内市創業支援制度の紹介

本市では、商工団体や金融機関などと連携し、創業を希望する方や予定の方に対し、相談から実際に創業を実現するまでの間の必要なサポートをワンストップで対応する万全の体制を整えています。今回は、本市の「創業支援」の取り組みである「創業スクール」と「補助制度」について紹介します。

創業スクールについて

本市では、川内商工会議所の主催により、毎年6～7月に創業スクール（全5回）を開催しています。経営・人材育成・資金調達・事業計画などの講話や、創業の際に必要なビジネスプラン作成の実践など、充実したカリキュラムが用意され、創業に向け一貫したサポートが受けられます。創業に必要な基本知識の習得だけでなく、「創業」という同じ志を持つ仲間づくりにもつながっています。昨年度は受講生のうち7人の方が創業の夢をかなえました。



▲令和5年度の創業スクールの様子

補助制度について

創業には、設備資金や運転資金といった資金の確保も必要です。本市では、創業時に必要な費用の一部を支援する制度を設けています。

補助区分	補助率	上限額	
		一般型	脱炭素・SDGs型
A 創業スクール受講（法人）	2/3	100万円	150万円
B 創業スクール受講（個人など）		100万円	
C 創業スクール未受講（法人）	1/2	50万円	80万円
D 創業スクール未受講（個人など）			

▲創業支援事業補助金の内容

創業支援事業補助金

新たに創業される方（創業2年未満の方を含む）の創業を後押しするため、創業に必要な費用の一部を支援する制度です。創業スクールを受講された方に対する補助率の引き上げや、SDGsに取り組む方への重点支援も含めた、充実した支援制度となっております。

甑島地域創業支援事業補助金

甑島地域において、雇用の増加を伴う創業または事業拡大を行う事業者に対して、その事業資金の一部を支援する制度です。本制度は年2回の募集を行っており、今回の募集開始時期は6月上旬頃を予定しています。

補助区分	補助率	上限額
創業	3/4	450万円
事業拡大		1,200万円
事業拡大 ※設備費・改修費を 経費に計上しないもの		900万円

▲甑島地域創業支援事業補助金の内容

本市には皆さんの創業を後押しする支援制度があります。これまで多くの方々が、創業スクールや補助制度を活用し、創業の夢を実現されていますので、ぜひ、ご活用ください。

問合せ／本庁産業戦略課産業G（内線5763）